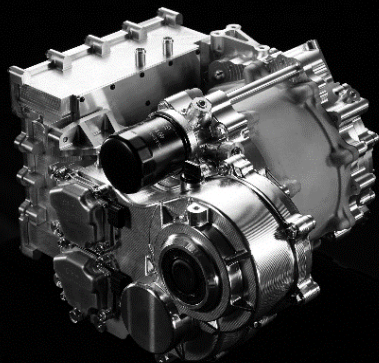
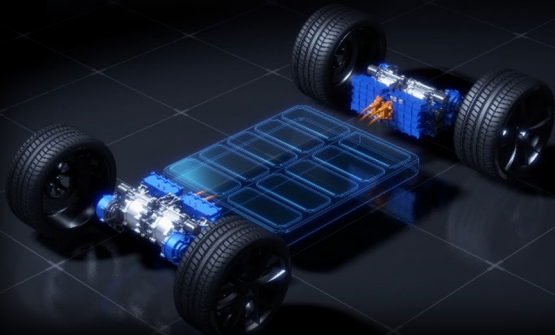


2021年12月期 第1四半期決算説明会



EVモーター(350kW)
4基搭載イメージ



ヤマハ発動機株式会社
2021年5月14日
(証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2021年12月期 第1四半期決算

取締役 大川 達実

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

主要商品別 当社出荷台数（1-3月実績）

想定を上回る出荷。多くの地域で、2019年水準まで回復。

商品/地域		2020年比		2019年比	
		出荷	在庫 ※	出荷	在庫 ※
二輪車	欧州・米国・日本	105%	75%	102%	74%
	インドネシア	83%	57%	78%	68%
	タイ	151%	73%	116%	79%
	ベトナム	100%	92%	96%	69%
	フィリピン	114%	67%	83%	69%
	中国	181%	101%	224%	68%
	インド	119%	121%	90%	86%
	ブラジル	108%	54%	121%	57%
ATV+ROV	北米	124%	47%	105%	46%
PAS		122%	-	122%	-
船外機	北米・欧州	108%	48%	86%	63%
マウンター		194%	-	211%	-

※二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫の3月末時点台数ベース

2021年1Q 経営状況

2019年比・2020年比ともに、増収・増益。

(億円)	2019年 1Q	2020年 1Q	2021年 1Q
売上高	4,293	3,959	4,441
営業利益	359	254	483
営業利益率	8.4%	6.4%	10.9%
経常利益	375	268	529
当期純利益※	283	96	418

2019年 比	2020年 比
103%	112%
135%	190%
+2.5pts.	+4.5pts.
141%	197%
147%	435%

EPS(円)	81.15	27.51	119.56

147%	435%

(\$・€)	110・125	109・120	106・128
(\$/IDR・BR\$)	14,077・3.8	14,119・4.4	14,108・5.5

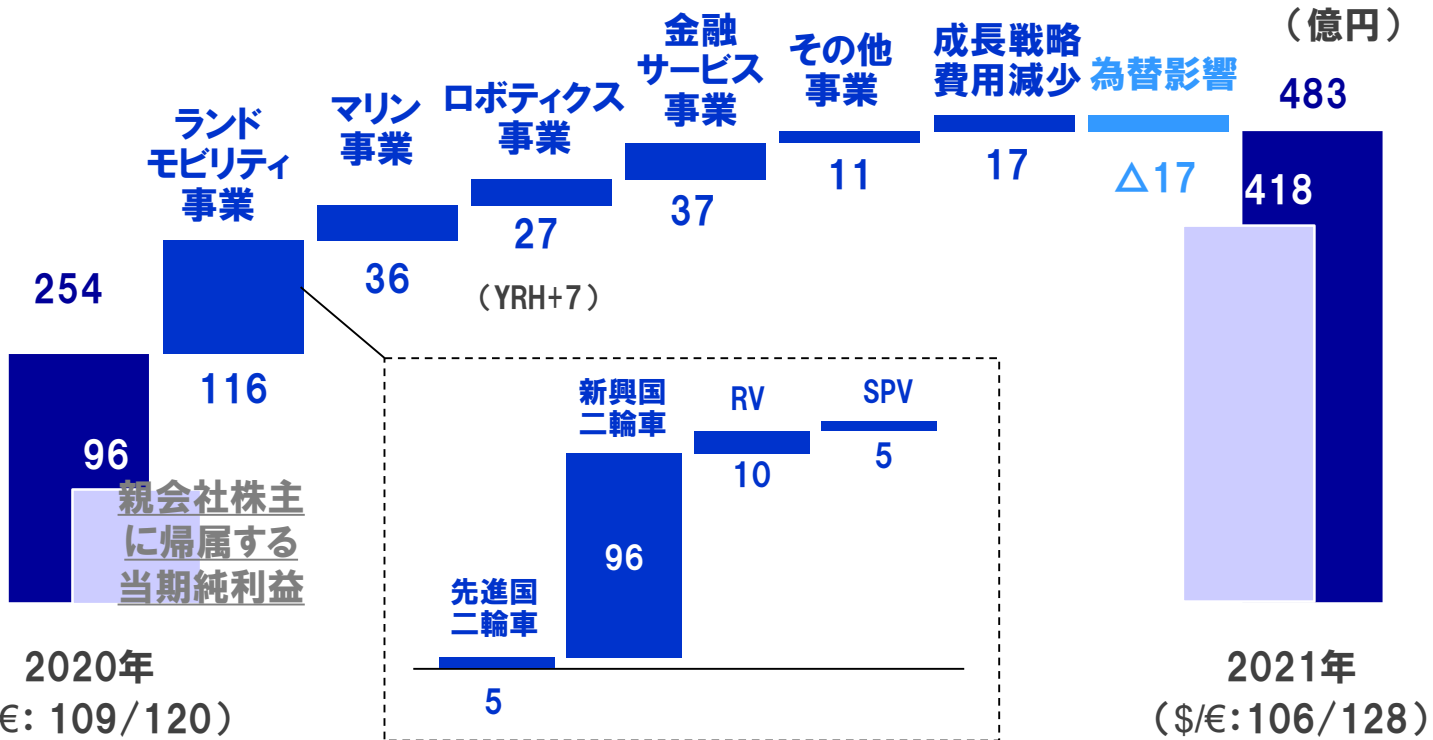
—	—
—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2021年1Q 営業利益変動要因

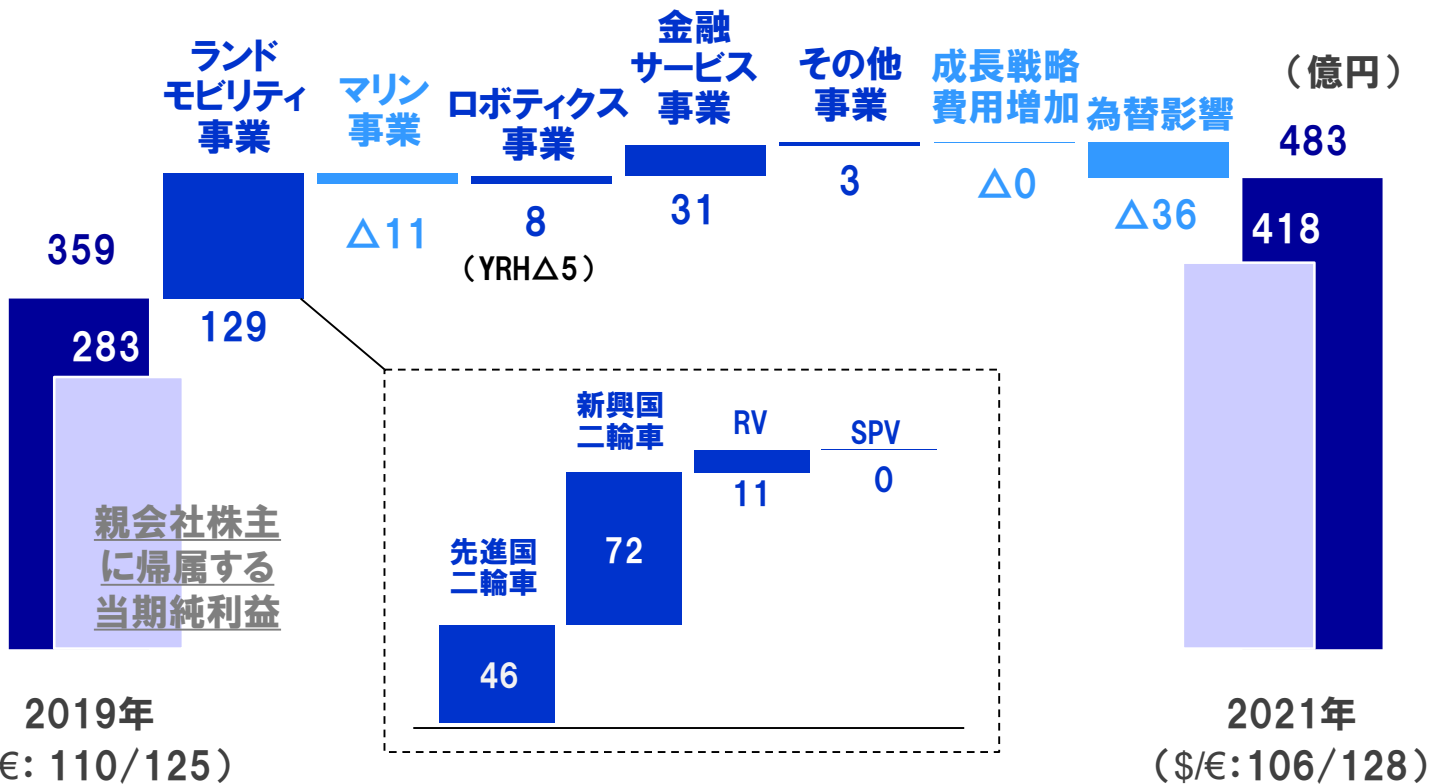
全事業で増益。

新興国二輪車の販売台数増加、モデルミックス改善が大きく寄与。



2021年1Q 営業利益変動要因（対2019年）

ほぼ全ての事業で2019年を上回るパフォーマンス。
ランドモビリティ事業は先進国・新興国ともに大きく改善。



経営業績：2021年（年間予想）

体質改善効果や為替影響を織り込み、業績予想を上方修正。

（億円）	2019年 実績	2020年 実績	2021年 当初予想	2021年 今回予想
売上高	16,648	14,713	17,000	17,350
営業利益	1,154	817	1,100	1,300
営業利益率	6.9%	5.6%	6.5%	7.5%
経常利益	1,195	877	1,100	1,350
当期純利益※	757	531	720	900

（\$・€）	109・122	107・122	103・126	106・128
--------	---------	---------	---------	---------

今後の見通しのポイント

■為替前提

- ・2Q以降の為替レートを\$ 106円、€128円に見直し。

■外部環境

- ・新型コロナウイルスの再拡大も見られるが、全体的には経済活動の正常化が進む。
(変異株拡大による世界的なロックダウンは織り込まず)
- ・物流逼迫の状況。
- ・半導体等の部品供給不足。
- ・原材料(ロジウム・アルミ)価格の高騰。

■事業環境

- ・先進国事業:アウトドアレジャーの需要が継続。
- ・新興国二輪車事業:需要は回復基調。
- ・ロボティクス事業:全世界で設備投資需要拡大、半導体需要の増加が継続。

■収益力強化

- ・プレミアムモデルへの資源集中により、限界利益率改善。
- ・固定費削減の定着。

中長期施策 進捗状況

コネクテッド

■2モデル投入完了



NMAX グローバルで投入



AEROX アセアン市場本格展開

カーボンニュートラルへの備え

■電動二輪車用交換式バッテリーコンソーシアムへの参画

日本：2021年3月 標準化合意

欧州：2021年3月 創設合意

■ハイパーEV向け電動モーターユニット試作開発受託を開始



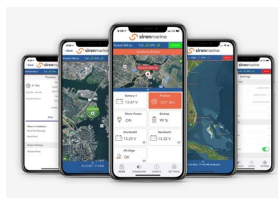
中長期施策 進捗状況

マリンCASE戦略

Connected (つながる安心感)

■ Siren Marine出資

IOT対応・コネクテッドボート対応に向けた
技術開発推進



Autonomous (安心・快適、身近な マリンレジャー)

■ 新操船システム 先進国市場導入完了



Shared (経験から自己実現へ)

- Sea-Style入会者 2018年比+13%
- 免許教室受講者 2018年比+12%



CharterPlan
SEA-STYLE



Electric (静粛な時間・空間)

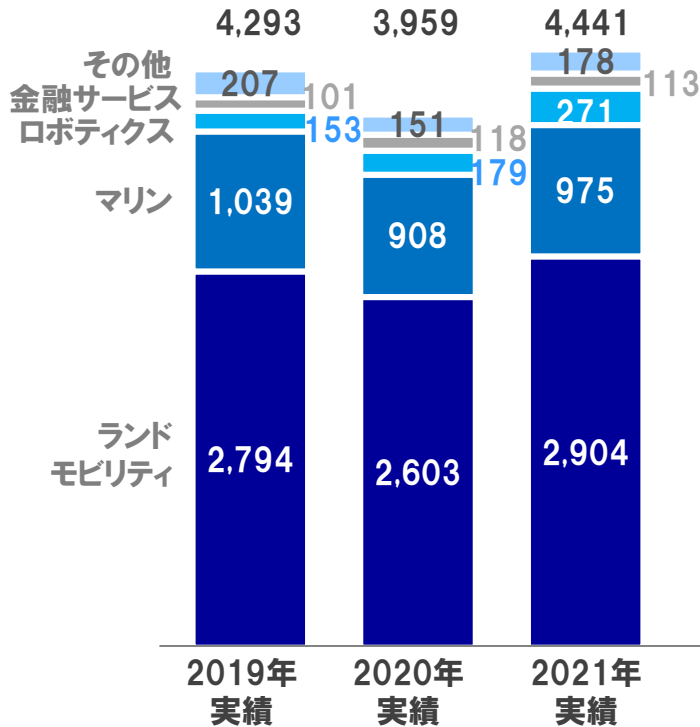
■ 小樽運河クルーズサービス実証運航



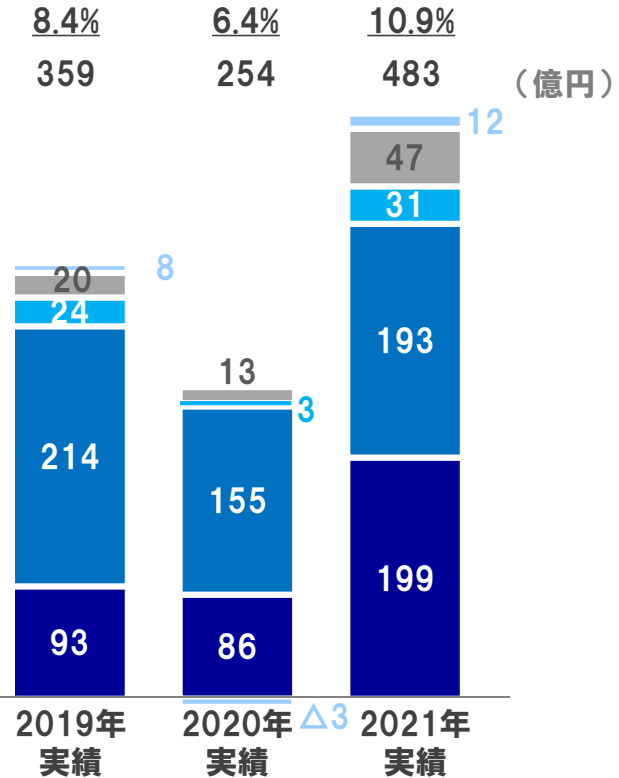
事業別説明

事業別 売上高・営業利益 (1Q)

売上高



営業利益

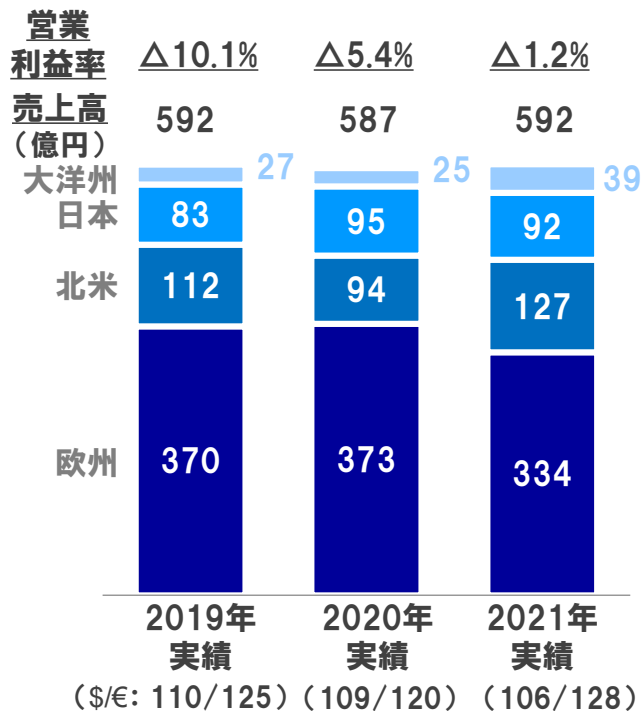


(\$/€: 110/125) (109/120) (106/128)

2021年1Q 事業業績

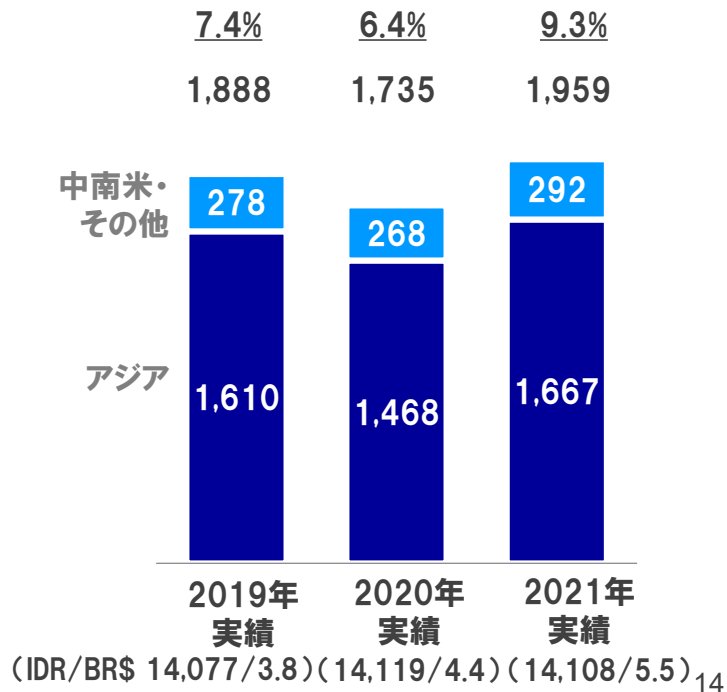
ランドモビリティ事業 先進国二輪車

アウトドアレジャー需要好調継続。
販管費削減により、営業利益率改善。



ランドモビリティ事業 新興国二輪車

想定以上の力強い回復。
高価格帯MAXシリーズの販売好調。



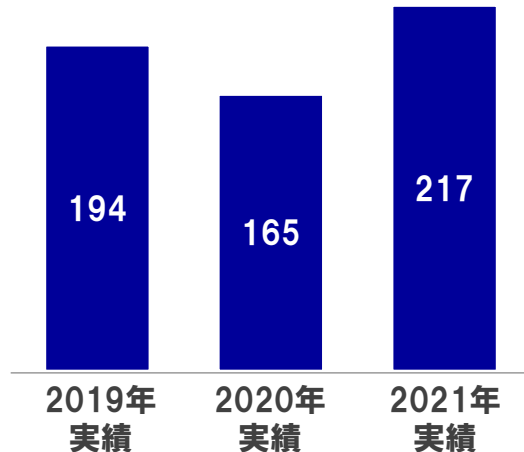
2021年1Q 事業業績

ランドモビリティ事業 RV事業

販売台数増加により、黒字化。
旺盛な需要に対し、生産挽回に努める。

営業
利益率 △4.2% △5.8% 0.8%

売上高
(億円)

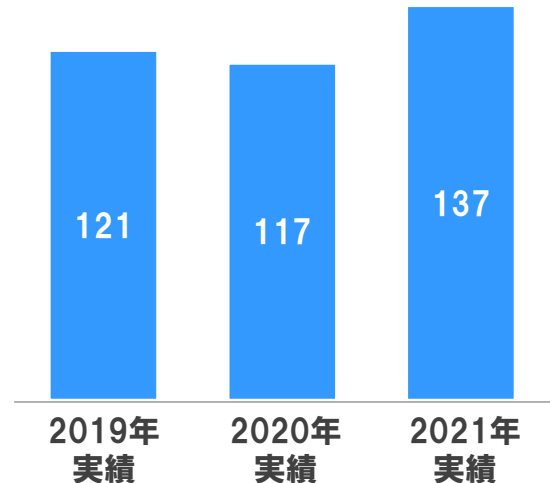


(\$/€: 110/125) (109/120) (106/128)

ランドモビリティ事業 SPV事業

国内完成車、欧州向けE-Kitの販売増加。

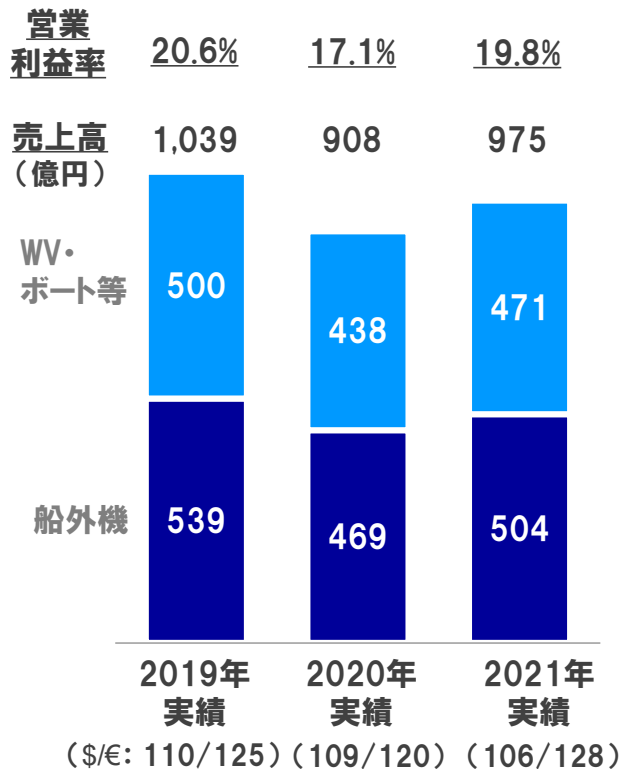
17.6% 13.8% 15.6%



2021年1Q 事業業績

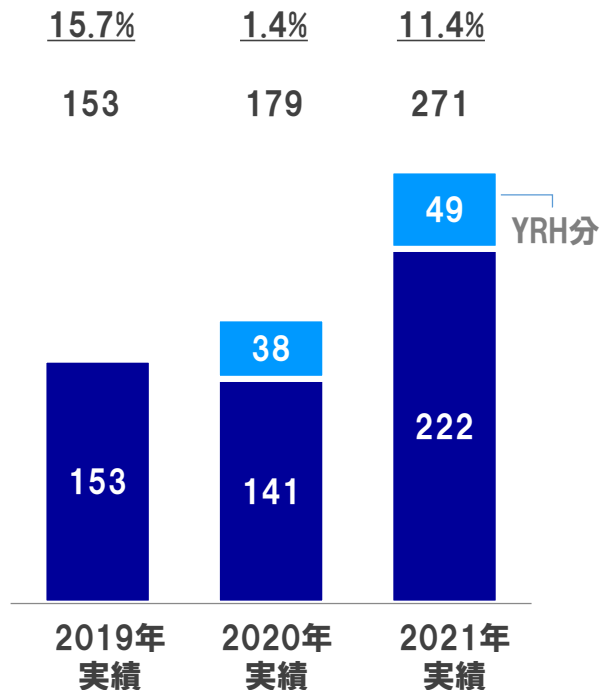
マリン事業

北米・欧州で旺盛な需要が継続。
生産フル稼働で供給力を高める。



ロボティクス事業

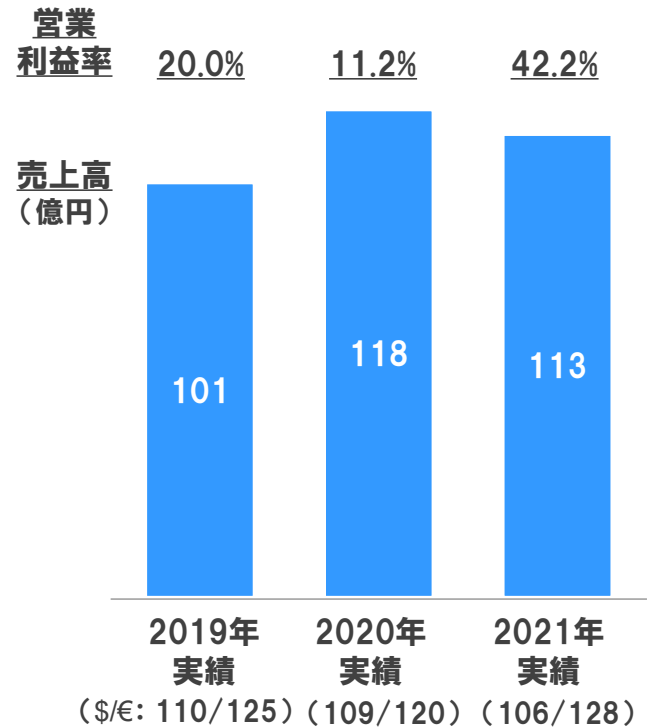
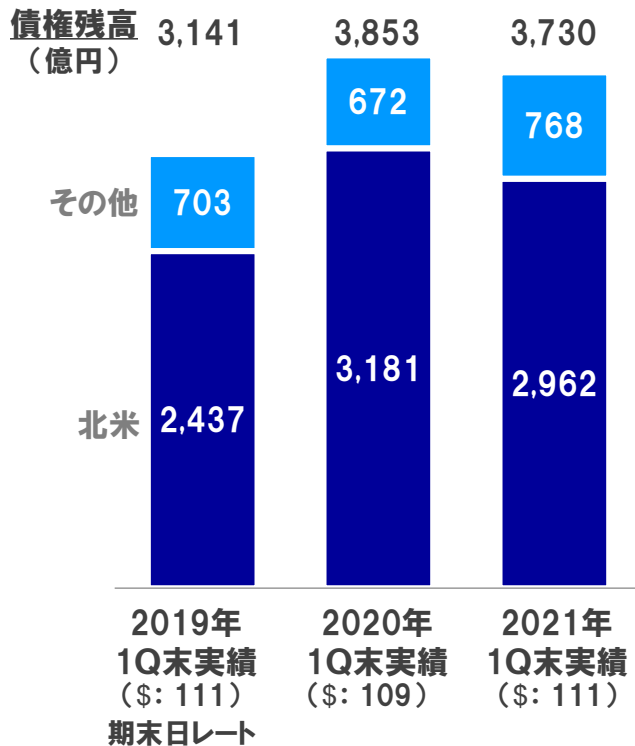
アジア・欧米でのマウンター販売増加。
YRHのPMI進捗により、営業利益率改善。



2021年1Q 事業業績

金融サービス事業

貸倒引当金の減少や小売ファイナンス好調により、大幅増益。

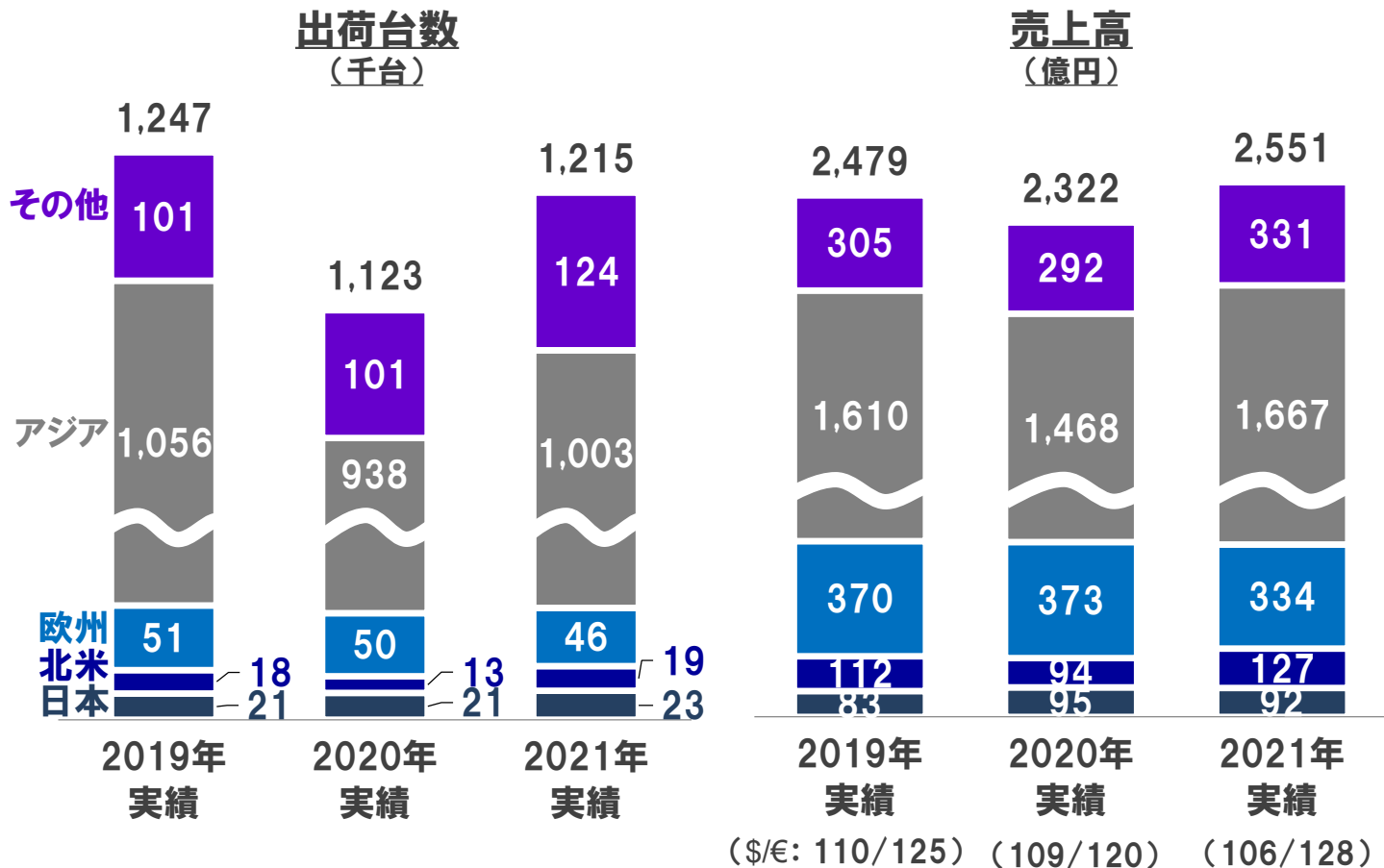




YAMAHA

Revs Your Heart

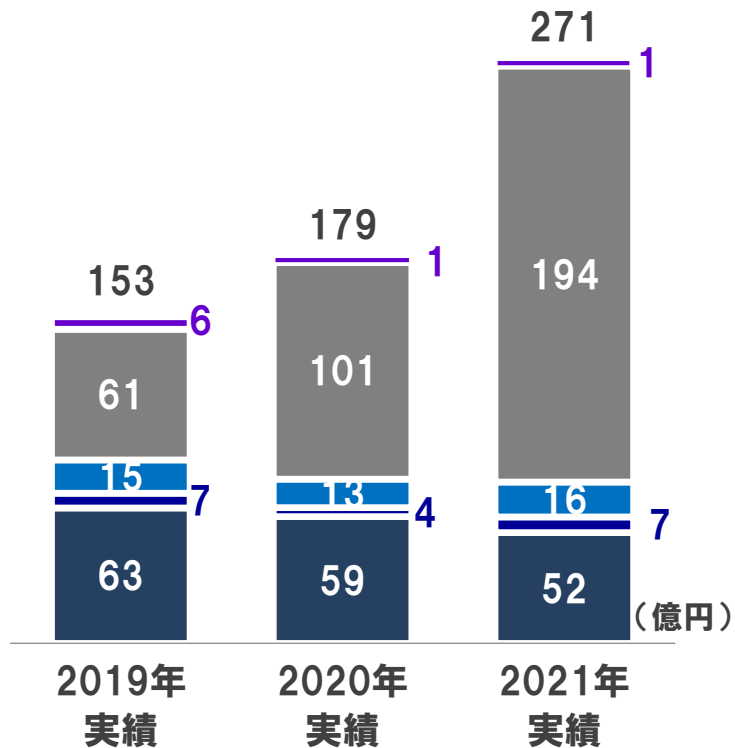
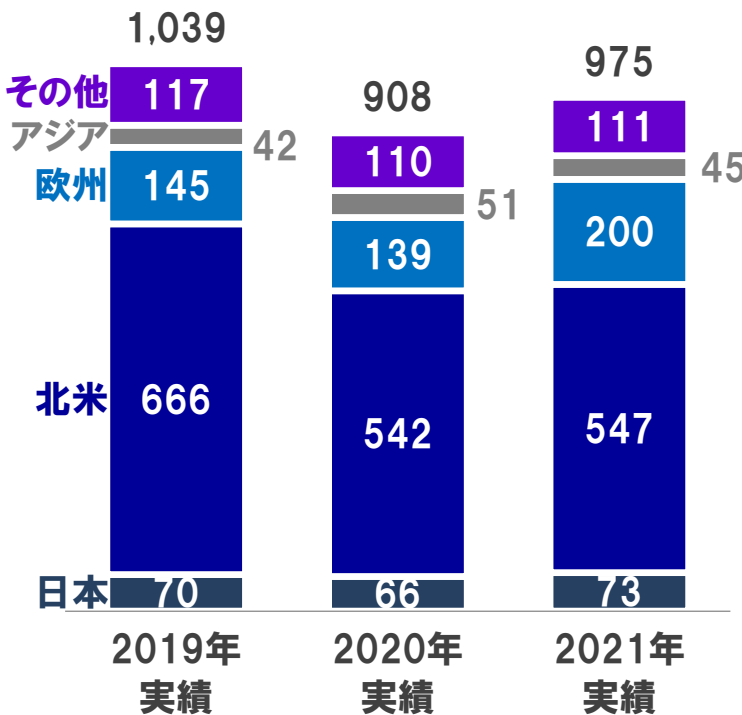
二輪車販売台数・売上高（1Q）



マリン、ロボティクス 売上高 (1Q)

マリン

ロボティクス



(\$/€: 110/125) (109/120) (106/128)

(億円)

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	19年1Q	20年1Q	21年1Q
設備投資	76	121	117
減価償却費	122	127	129
研究開発費	232	245	211
有利子負債	4,009	5,111	4,951

為替影響（対前年）

(億円)	1Q (3ヶ月)			
	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△13	17	7	10
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△27	△27
粗利益の換算影響（海外子会社）	△5	8	△7	△4
販管費の換算影響（海外子会社）	3	△5	6	4
営業利益への為替影響	△16	20	△21	△17

為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$	EURO
5億円	2億円



YAMAHA

Revs Your Heart